

講演会のご案内

演題 「今、福島から学ぶ
－原発と人権－」

講師 なかさとみ ひろし
中里見 博氏

(徳島大学総合科学部教員)

<講師プロフィール>

1966年、福山市生まれ。現在、徳島大学総合科学部教員。専門は憲法、ジェンダー法学。名古屋大学大学院法学研究科および米国ミネソタ大学ロースクールLL.M.修了。1999年～2012年3月まで、徳島大学に勤務。

日時 2013年7月6日(土)

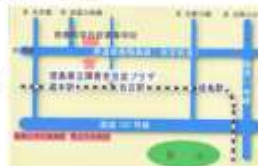
開場 9:30 開演 10:00～11:30

場所 徳島県立障害者交流プラザ 3階研修室

参加費 無料

*徳島市営バス 循環バス
「徳島駅前」発→「科学技術高校前」
で下車 (所要時間30分)

駐車場有り



福島原発で起きた世界最悪クラスの事故は、政府も東電も責任を逃れるため事故を過小評価し、原発再稼働を目指しています。

27年たったチェルノブイリ事故の被害者にいま何が起きているのか。原発は事故が起きなくても人権と地方自治を侵害しなければ存在できません。

原発を人権問題として考えます。



主催：公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会 <http://kyofukai.jp/>

問い合わせ 矯風会徳島 Tel 0885-32-1622

矯風会は、1886年の創設以来、キリスト教の精神に基づき女性と子どもの人権を守り、福祉への貢献、平和と脱原発実現をめざした取り組み、酒・たばこの害に関する相談事業、経済的困難や暴力被害の女性や子どもを守るためのシェルター運営をする団体です。

後援：NPO法人 ナルク徳島 徳島県女性保護協議会

朝日新聞徳島総局 徳島新聞社

協賛：社会福祉法人 矯風会